



「最後まで私達を支える税」

大田区立大森第六中学校 二年 加藤 真菜美

私が幼い頃、一番初めに税を意識したのは消費税だ。百円玉一つ持って買い物に行っても百円の商品を買えない。百円十税。「税金が無ければもっとたくさんの商品を買えるのに。」幼い頃はそう思っていた。しかし今回、税について学び、資料を見て分かったことは、諸外国に比べ日本は消費税率がとても低いのだ。ハンガリーの税率は二十七パーセント。フランス、イギリスは、二十パーセントだ。私が馴染みのある諸外国で、多くの消費税が課されていることに驚いた。

改めて「税金」が使われている場面を調べて、税からの恩恵を考える。と十パーセントでは不満が言えないのではないかと思った。なぜなら、私達の暮らしは生まれてからずっと税に支えられているからだ。

私の母子手帳には、赤ちゃんの頃から何度も受けている定期予防接種の記録がある。公費でたくさん予防接種を受けることができた。そして、病院へ行っても診察も薬も無料である。近年では、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのワクチン接種も無料で行うことができた。

「高いから」と躊躇することなくできるワクチン接種は、親にとっても子どもにとっても、とても安心できる。費用の心配をせず、ワクチンを

接種できることは、私達子供はもちろん全世代の日本国民を守っていると思う。昨年、祖母は脳の病気で大手術をし、その後約一ヶ月間入院した。両親は、初めての大手術と長い入院で費用面を心配したそつだが、「高額医療制度」を使って、思ったよりずっと大きな出費にならずすんだという。また、介護保険サービスを使って、車椅子をレンタルしたり、家の中まで歩きやすいように、手すりを付けてもらったりしたそつだ。

介護保険に不安感情を持っていた母は、介護サービスのケアマネージャーさんに精神的にもとても助けられたそつだ。そして、私が幼い頃によく遊びに行った児童館、友達と遊んだ公園、たくさんの本を借りることができる図書館、毎日使う教科書も税に支えられている。現在も幼い頃も、年をとってからでも、税に助けられているのだ。

私達の暮らしは税によって支えられ、守られていることを忘れてはいけない。蛇口をひねればきれいな水が飲める水道も、きれいに舗装された道路にも税は使われている。自分、家族、友達、日本国民皆が豊かに暮らせる日本であるために、税は大きな役割を果たしている。目先の出費にとらわれず、自分の未来のために、未来の子ども達のために、これからもしっかりと納税しようと思う。そして、皆が払う税金を無駄にすることのないようにしたい。例えば、学校の備品を丁寧に扱ったり、健康でいることだったり、自分のできることを試行錯誤して暮らしていこうと思う。

私も働き始めたら、誇りをもって「納税者」になり、社会を支える一員になりたい。